

Attention !

HPに掲載されている情報は、『これからはじめる口腔機能向上事業ガイドブック』購入者の便益を図るために公開されております。したがって「私的使用」に関しても、ご購入者に限り許諾いたしております。当Webサイトに掲載されているテキスト、写真、イラスト等の文字・画像の著作権は、永末書店および原著作者にあり、これらの情報は、永末書店に無断での転載、複製、公開、公衆送信、再配布、翻訳などの利用を一切許可いたしません。

無断での転載、複製、公開、公衆送信、再配布、翻訳等が認められた場合、厳正な対処を取らせて頂きます。

Copyright (C) 2010, NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved.

情報利用ガイドライン(ご購入者様用) *ご購入されていない方の使用は一切認めておりません	
許容範囲です	
資料を自分用に使いたい	○(ただし、本書をご購入頂いた方のみに限らせて頂きます)
資料を自分用に改変して使いたい	○(ただし、本書をご購入頂いた方のみに限らせて頂きます)
病院や介護施設でも使用したい	○(ただし、本書をご購入頂いた方のみに限らせて頂きます)
市町村の口腔機能向上事業でも使用したい	○(ただし、本書をご購入頂いた方のみに限らせて頂きます)
* 資料には各書式の雛型、アセスメントナビ、イラストが含まれます * 資料の「複製」については病院や介護施設、市町村の口腔機能向上事業のために用いる場合のみ特別に、許可いたします	
許容範囲ですが、事前にご連絡頂けますと幸いです	
印刷して医院の壁に掲示したい	○(ご購入の場合でも、永末書店にご一報下さい)
改変後印刷して医院の壁に掲示したい	○(ご購入の場合でも、永末書店にご一報下さい)
恐れ入りますが、弊社および著作権者に重大な損失をもたらしますので、ご遠慮願います	
自分(医院)のHPに貼り付けたい	△(ご購入の場合でも、永末書店にご一報下さい)
自分(医院)のHPのリンク集に入れたい	△(ご購入の場合でも、永末書店にご一報下さい)
手を加えて自分(医院)のHPに公開したい	×(ご購入の場合でも、ご遠慮下さい)
印刷して同業の衛生士や歯科医に配布したい	×(ご購入の場合でも、ご遠慮下さい)
メールで同業の衛生士や歯科医に送りたい	×(ご購入の場合でも、ご遠慮下さい)
恐れ入りますが、お止め下さい	
所属する団体のHPに公開したい	×(発覚した場合、法的措置をとらせて頂きます)
所属する団体のHPのリンク集にしたい	×(発覚した場合、法的措置をとらせて頂きます)

口腔機能向上アセスメントナビ (Hand made edition)

本書をプリントアウトして、上手に切り取れば、手作りアセスメントナビの完成です。

評価項目は地域や事業の実情に合う形で改変可能です。

イラストや写真を追加して自分だけのアセスメントナビを作ってみましょう。

<使用方法>

1. A4の紙(写真紙に印刷するとより実物に近い仕上がりとなります)にプリントアウトします。
3. 枠線の間を器用に切り取ります(1ページあたり3枚できます)。
*この際、上から順に重ねて一気に切りますと、早く完成しますが、失敗すると悲しい思いをします。
4. 表紙の左上の空白部分にパンチで穴を開けます。
5. ひもやリングを使ってとじます。
6. 会場に行く際に携帯します。

おまけ素材集

フレームやオブジェクトを駆使して完全オリジナルにも挑戦してみましょう。

オブジェクトの属性はパレットやダブルクリックから書式設定で変更できます。上手に重ね合わせてみましょう。



お口の中の状況

問診

口に対しての本人の健康感を尋ねる。
 困っていることや希望愁訴を聞き取る。
 本人の希望や解決すべき問題を個別計画の目標に含めることができる。

食事に関する課題

問診

・食事量が減った
 ・おいしく感じない
 ・味が分かりにくい 等
 食事で困っていることを聞き取る。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved.

QOL のアセスメント

問診

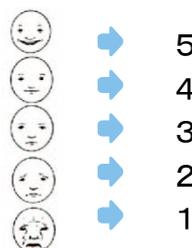
基本チェックリストに対応する質問。フェイススケールを見せ、1つ1つの質問に対し、本人の日常的に感じている困り具合を指さしてもらう。

- ① 硬いものが食べられる
- ② むせ:水分摂取時のせき込み、食後の声変わりや息苦しさなどを聞き取る
- ③ 口の渇き
- ④ 表情の豊かさ:観察者の評価

観察

QOL の評価

点数



Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved.

口腔内評価

観察

口腔乾燥

観察する前にお茶を飲んだりうがいをしたりはしないで観察する

- ① 舌の上に唾液がある……………1点
- ② 舌の上に唾液がなく渇いている……………0点

口臭:他覚臭により評価。普通に会話を行う状態(30cm位)で評価

- ① ない:感じられない、気にならない……………2点
- ② 多少ある:鼻を近づけると感じる……………1点
- ③ ある:問診時の普通の会話で感じる……………0点



Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved.

口腔内評価

観察

歯・義歯の清掃状態：見た目判断する

- 1 良好: 明らかな汚れがない……………2点
- 2 多少ある: 点在する程度で付いている……………1点
- 3 不良: 食物残渣やプラークがある……………0点

歯みがきの回数

夕食後(その日の最後の食事後)に磨くか確認する

- 1 2回以上(夕食後が含まれている)……………2点
- 2 2回以上(夕食後が含まれていない)……………1点
- 3 1回以下……………0点

問診

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

歯磨き後の出血

- 1 出血する……………0点
- 2 出血しない……………1点

上肢の動き: 指と肩を同時に判断する(片手で反対側の耳をつまむことができる)

- 1 左右、両方できる……………2点
- 2 片方できる……………1点
- 3 両方できない……………0点

問診

観察

アセスメントの注意点

- * 歯みがきをするときの手の動きの制限についてのアセスメント
- * 手指はつまめるか、肩は動くかどうかを同時に判断する。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

咀嚼機能評価

問診

噛める歯

食事で噛むことのできるの

- 1 両方の奥歯……………2点
- 2 片方の奥歯……………1点
- 3 奥歯で噛めない……………0点

痛みの有無

食事の時、また噛む時の痛み

- 1 ない……………1点
- 2 ある……………0点

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

咀嚼機能評価

問診

アンケート

噛める食品

食品名を提示して噛むことができるものに○をつけてもらう。

硬い:①ピーナツ ②たくわん ③堅焼きせんべい

次に硬い:④フランスパン ⑤ビフテキ ⑥酢ダコ ⑦らっきょう ⑧貝柱の干物 ⑨するめ

少し柔らかい:⑩イカの刺身 ⑪こんにゃく ⑫ちくわ

柔らかい:⑬ごはん ⑭まぐろの刺身 ⑮うなぎの蒲焼

* 食べられる食品数を記入する。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

観察

発音

「パ・タ・カ」を連続して5秒間で何回いえるかをカウントする。できるだけ多くはっきりということ、途中で息をしてよいことを伝えておく

① 10回以上…………… 2点

② 7回～9回…………… 1点

③ 6回以下…………… 0点

アセスメントの注意点

* アセスメント時に口の周囲の筋肉の動きを観察する。

* スムーズな動きか、特にいいにくい言葉があるかを観察する。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

観察

舌の動き (前後:舌が前に突き出せるか観察)

① 口から1cm程舌が出せる…………… 2点

② 口唇をなめることができる…………… 1点

③ 出せない…………… 0点



左右:頬の中ほどを指で外側より軽く触れ、そこを舌で押してもらう。その時、舌で抵抗できるかどうかを判定。あめ玉のようにみえるまで押せる場合“できる”

① 両方できる…………… 2点

② 片方のみできる…………… 1点

③ できない…………… 0点



Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

観察

舌の動き

上:口を開け、上顎前歯の裏側をなめることができるか

- 1 指が2本入るぐらい開けることができる……2点
- 2 指が1本入るぐらい開けることができる……1点
- 3 つかぬい……………0点



☞アセスメントの注意点

- * 指2本分とは3~4cm程度。
- * 指示に対して顔まで動いてしまうのは「つかぬい」…0点とする。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

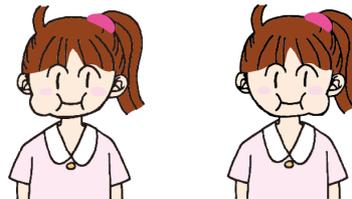
嚥下機能評価

観察

頬の膨らまし

頬を片方ずつ膨らましてもらい観察する

- 1 左右同じようにできる……2点
- 2 片方のみできる……1点
- 3 できない……………0点



☞アセスメントの注意点

- * 十分膨らんでいるものだけをできるとする(疑わしいはできないとする)。
- * 膨らませた頬を押しても空気がもれない場合“できる”とする。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

問診

食事中的むせ

聞き取りで行う

- 1 全くない……………2点
- 2 時々むせることがある……1点
- 3 食事中にいつもむせる……0点

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

観察

RSST：唾液嚥下

のどに指をあて、「できるだけ何回も『ゴックン』とつばを飲み込むことを繰り返してください」といい、30秒間観察する。

- ① 3回以上…………… 2点
- ② 1～2回…………… 1点
- ③ 0回…………… 0点

☞アセスメントの注意点

喉頭(のど仏)が飲み込む際に指二本分、上にあがっていることを確認してカウントする。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

嚥下機能評価

観察

うがい

水を口に含んでもらいぶくぶくうがいをしてもらおう。

- ① できる…………… 2点
- ② 不十分…………… 1点
- ③ できない…………… 0点

☞アセスメントの注意点

* 頬のふくらみが十分で、水の漏れがなく、水の音がはっきり聞こえることが「できる」とアセスメントする。

* 水分でむせる可能性がある人は水を使わない。

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved

口腔機能向上アセスメントナビ

Copyright(C)2010,NAGASUE SHOTEN, All Rights Reserved